



令和8(2025)年

3月 保育園だより

あいじ福祉会 黒部愛児保育園
TEL 52-4516

あいじ福祉会の理念

基本理念…乳幼児の最善の利益を図る
保育理念…人間性の優れた発芽と稔りを願う親の心を心とし、親の願いを願いとして、乳幼児ひとりひとりの生涯におよぶ幸せに寄与することを念願とする。

厳しかった寒さも、日に日に和らぎ、少しずつ春の訪れを感じる季節となりました。保育園では、一年間を締めくくる3月を迎え「小学校楽しみ」「もうすぐ〇〇組になる」と、就学や進級への喜びと期待が感じられるようになってきました。子ども達はこの一年間、様々な活動や経験を通して育まれた力を土台とし、しっかりと“根”をはり、強い幹へと成長していくことでしょう。

成長した子どもの姿を認め、喜び合いながら、就学・進級に向かう自信へとつながるよう、関わっていきましょう。



2(月)	フレンスタイム 交通指導(16日も)	20(金)	🇯🇵 春分の日
3(火)	ひなまつりのつどい	23(月)	フレンスタイム 第43期生 同窓会(12歳の集い) 三日市保育所にて
6(金)	イングリッシュタイム		黒部愛児保育園と三日市保育所を卒園した、現在小学6年生の同窓生を招待します。
5(木)	命ありがとうのお茶会 5歳児	25(水)	※感謝の日 3園合同研修会 18:00~
7(土)	保護者会総会 9:30~	27(金)	布団持ち帰り日 シーツや枕の洗濯、乾燥をして、次週持たせて下さい。
9(月)	フレンスタイム 新入園児 保護者説明会 13:00~	30(月)	第51期生 修了式 詳細は後日お知らせします。
10(火)	サケの放流(5歳児) 14:00~ ("デイサービスきずな"との交流)		< 4月の行事予定 >
12(木)	イングリッシュタイム参観 5歳児 10:30~ ブライアン先生・りえ先生(4.5歳児)	1(水)	入園、進級のつどい
16(月)	フレンスタイム 身体測定(至19日)	25(土)	保護者会総会 AM 園内衛生消毒 PM 製薬会社による消毒です。12:00までの保育とさせていただきます。
17(火)	らいおん組さん ありがとうのつどい		
18(水)	命ありがとう パパ・ママデイ 10:30~ 当月の誕生児をお祝いします。命ありがとうの日です。 ※主食はいりません。		
19(木)	子育てサポーター 避難訓練		

保育・教育

この一年、様々な活動や経験を通して、心身共に大きくなった子ども達の成長した姿をお伝えします。



0歳児 ひよこ組

0歳児は一人ひとりの成長の発達の差が大きいです。“はいはいをしていた子が立つ” “つかまり立ちをしていた子が歩く” “わんわん” “ぶーぶー”と言葉が出る” 昨日よりも今日、今日よりも明日。日々、成長しています。「できたね」と声をかけると子ども達も嬉しそうです。一緒に成長を喜び合い、健やかにのびのびと育つ子ども達の姿をこれからも見守ってまいります。



1歳児 りす組

言語が増え、「おはよう」「ばいばい」「いただきます」など挨拶をします。また「〇〇と来た」「おにぎり食べてきた」と、経験したことを思い出しながら伝えます。友達へ関心もでてきて「〇〇ちゃん、一緒にしよう」「ちょうだい」「ありがとう」などと、自分の思いを言葉で伝えられるようになりました。まだまだ、うまく言葉にするのが難しいこともあります。保育者を仲立ちとし、一人ひとりの成長を喜び、ますますの成長を願いながら関わってまいります。



2歳児 うさぎ組

食事、衣服の着脱、排泄など身の回りのことを自分でやりたい気持ちが芽生えました。保育者の見守りの中自分でできたことが、意欲となり、達成感へとつながっています。最近では、自分のうがいコップでうがいが嬉しくて「これ〇〇のコップ」とコップ袋に入れ、カバンに始末することもできるようになりました。また、一人遊びから、友達に関心をもち一緒に遊ぶことで友達と一緒に楽しいという感情を味わっています。とは言ってもまだまだ言葉で自分の思いを正しく伝えることが難しい年齢です。保育者が仲立ちとなり一人ひとりの気持ちを代弁しながら、相手の思いに気付けるよう丁寧に関わってまいります。



3歳児 いぬ組

友達を誘い合って遊ぶ姿が盛んに見られます。一人の子が考えた遊びに「それいいね～」と同調し、一緒に楽しんだり、「じゅあ、今度は〇〇してみるのはどう？」と新たな遊びを提案し、遊びを変化させて楽しみ合うようになっています。遊びの中で起きる意見の食い違いや物や場所の取り合いによるトラブルも少なくなってきました。言葉で伝え、順番を守って貸し借りできたり、待てるようになった4歳の力が備わってきたからです。友達が生活全般において必要な存在となり、ますます友達との関係が大切になってきます。そしてさらにピカピカの状態で進級できるよう一日一日を過ごしていきます。



4歳児 くま組

4歳児に進級した4月、子ども達が『5歳の力』を考えました。一年間、その5歳の力を目標にしながら過ごしてきました。2階の保育室での生活にわくわくし、「～やってみたい」「～するのが楽しい」と、期待や意欲が溢れていました。様々な活動に取り組む中で、“難しい” “上手くない” と感じる経験をたくさんしました。諦めそうな姿もありましたが、“5歳だからできる!” という前向きな気持ちを持ち、友達と一緒に挑戦してきました。その過程で、自己主張ばかりするのではなく、他者を理解する気持ちも育っていきました。また、頑張る力や自信がついていき、“もうすぐ保育園で一番大きいらいおん組になる”と5歳児に進級する期待感で胸を膨らませています。一人ひとりが自分の力を信じ、更に学びを重ねていくことを願っています。



5歳児 らいおん組

昨年度、4歳児の時、じっと前のらいおん組さんの姿を憧れのまなざしで見っていました。そして、4月に自分達がらいおん組になったとたん「らいおん組だから自分達で考えて、自分達でやらなんよ!」と発言し行動し始めました。子ども達が主体的に取り組んできたことは、学び野での野菜の栽培から始まり、段ボールで巨大な宇宙迷路やジャングル作り、運動会のリレーや、発表会など「やりたい!」「やってみたい!」と挑戦したことはたくさんあります。その経験を通し、友達と思いや考えを共有し、実現に向けて工夫や協力をし自分達で遊びを進めてきました。らいおん組は、自立心と協働性の育ちが自信につながっています。園での生活が残り1か月となりました。子ども達が一日一日を有意義に過ごせるよう援助をしてまいります。